

同時資料提供

大阪科学・大学記者クラブ
大阪教育記者クラブ
南大阪記者クラブ
関西レジャー記者クラブ

大阪市立自然史博物館 第53回特別展

「大阪アンダーグラウンド^{リターンズ}RETURNS ー掘ってわかった大地のひみつー」
を開催します



大阪市立自然史博物館では、令和4年12月17日（土）から令和5年2月26日（日）まで、特別展「大阪アンダーグラウンド^{リターンズ}RETURNS ー掘ってわかった大地のひみつー」を開催します。



私たちの生活を足下で支える地面。地面の下には植物が根を張り、様々な種類の動物や昆虫たちの生活の場にもなっています。人間が使う建物の基礎を支えているのも地面ですし、さらには地面の下に地下街や地下鉄のような建造物を作って利用しています。地下水や鉱物、化石燃料など、生活を支える地下資源もまた、地面の下から手に入れています。人の過去の暮らしの痕跡である遺跡や、動物や植物などの化石もまた、地面の下から発見されます。時には、地震や火山などの地質災害が起きますが、これもまた、地面の下の出来事です。

地面の下のことは、人々には意外に知られていません。この特別展では、地面の下のことをどのように調べるのか、そして地面の下は、どのようになっているのか、私たちがうかがい知る事の出来る範囲ではありますが、みなさんにご紹介します。地層の重なる様子が見られる地質試料「ボーリングコア」や、クジラや植物の化石、鉱物など、様々な標本を展示します。

この展示は、令和3年度に実施したものの、新型コロナウイルス感染症の流行第4波の休館要請により、8日間のみ公開となった第51回特別展「大阪アンダーグラウンドー掘ってわかった大地のひみつー」を再構成した特別展です。

I. 開催概要

1. 名 称 特別展「大阪アンダーグラウンドRETURNS^{リターンズ} -掘ってわかった大地のひみつ-
2. 主 催 大阪市立自然史博物館
3. 会 期 令和4年12月17日(土)～令和5年2月26日(日)
※開館時間：9：30～16：30（入館は16：00まで）
4. 休館日 月曜日（ただし1月9日は開館）、1月10日(火)、年末年始（12月28日～1月4日）
5. 会 場 大阪市立自然史博物館 ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225
HP：http://www.mus-nh.city.osaka.jp/
OsakaMetro 御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m
JR 阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m
6. 観覧料 大人500円、高校生・大学生300円
期間内特別展フリーパス 大人1000円、高大生600円
※本館（常設展）とのセット券は、大人700円、高大生400円。
※中学生以下、障がい者手帳など持参者（介護者1名を含む）、大阪市内在住の65歳以上の方は無料（要証明）。30人以上の団体割引あり。
※本館（常設展）、長居植物園への入場は別途料金が必要です（セット券を除く）。
7. 後 援 大阪府教育委員会、大阪市教育委員会

○プレス内覧会を、開幕前日の令和4年12月16日(金)午後1時より、大阪市立自然史博物館 本館 集会室および特別展会場で行います。プレス内覧会取材申込書にて前日までにファックスでお申込みください。

○広報用画像、読者・視聴者プレゼント用の招待券をご用意しています。広報用画像申込書、招待券申込書もファックスでお申込みください。

II. 主な展示および広報用資料写真・画像（掲載の画像は広報目的でのみご利用いただけます）

「大阪平野で掘削されたボーリングコア」

大阪平野の地下の地層は、機械で地下に穴を掘り、地層や岩盤を筒状に丸くくり抜いて調べるボーリング調査で調べます。大阪市立自然史博物館には、1995年兵庫県南部地震以降の活断層調査で掘削されたボーリングコア（ボーリング調査で地層から抜き取った円柱形の試料）が収蔵されています。大阪平野地下の地層は、海でたまった泥の地層と、川の働きで陸地にたまった礫・砂・泥の地層が交互に重なっています。その様子が分かるボーリングコアの一部を展示します。



1. 大阪市内で採取された活断層調査のボーリングコア（第51回特別展の展示の様子）

「大阪平野から見つかったクジラ化石」

地面の下の地層からは、様々な動物や植物の化石が見つかります。それらの化石からは、大昔の環境の変化の歴史を知ることができます。例えば、海洋生物であるクジラの骨が、大阪平野の地下から見つかりますが、これは縄文時代の大阪平野には海が入り込んでいたためです。大阪平野の地下から見つかった大小さまざまなクジラの骨を展示します。



2. 大阪平野地下から見つかった様々なクジラの骨の化石（第51回特別展の展示の様子）

「大阪層群から見つかる植物化石」

大阪層群は、堆積した年代によって産出する植物化石の種類が異なります。これは、氷期・間氷期による激しい気候変化が、植物の分布に大きな影響を与えたからだと考えられています。大阪層群が堆積した時代の様々な植物化石や写真を展示します。



写真はメタセコイアの枝先をプレパラートに封入したものです。約335万～250万年前、大阪ではメタセコイアが繁栄していたことが分かっています。しかし、徐々に寒冷な気候へ変化したことも影響し、約95万年前に大阪から消滅してしまったと考えられています。

3. メタセコイアの枝先標本

「大阪市立自然史博物館 鉱物コレクション」

私たちの生活には、地中から得られる資源や鉱物が欠かせませんが、採掘された鉱石や鉱物そのものを目にする機会は少ないでしょう。本特別展では、大阪市立自然史博物館に収蔵されている様々な鉱石や鉱物を展示します。



水晶は二酸化ケイ素 (SiO_2) の代表的な鉱物である石英の結晶です。自形結晶は、美しい六角柱状をしています。紫水晶など色つきのものは観賞用としての人気が高いです。また石英は、透明度が高く耐熱性にも優れていることから、光ファイバーなどの工業製品にも用いられています。

4. 水晶（高知県幡多郡柏島）



5. 黄鉄鉱 (青森県下北郡 安部城鉱山)

見た目から金と間違われることが多い鉱物です。硫黄を含むことから、黄色がかった金属光沢をしています。さまざまな金属鉱床から見つかります。自形結晶は正方形型をしていることが多いです。



6. 金銀鉱 (鹿児島県伊佐郡菱刈町 菱刈鉱山)

マグマの活動によって暖められた地下水(熱水)には、周辺の岩石から様々な成分が溶け込んでいます。これらの成分は温度が下がると結晶化(晶出)します。写真の岩石の白い部分は熱水から晶出した部分で、緑色の岩石との境界付近に金や銀が濃集した黒い鉱脈を含んでいます。これらを採掘して精製することにより、高品位の金属資源を得ることができます。

「瓜破遺跡 地層はぎ取り標本」

大阪平野の地面を数メートル掘ると、いろいろなところで遺跡が発掘されます。遺跡からは土器などの様々な遺物や過去の人々の生活の痕跡が見つかります。また遺跡の地層からは、当時の大阪がどのような環境であったかがわかります。

写真は大阪市東住吉区～平野区の瓜破遺跡の弥生時代の地層を、接着剤でそのまま採集したもので、「はぎ取り標本」を呼ばれます。このはぎ取り標本には、地層が変形したり、砂が何本もの細い砂脈となって地層を切っている様子が見られました。これは地震の揺れによって、地層が液状化し、小規模な噴砂が起こったためと考えられます。なお、液状化の原因となった地震がいつ起こったかは分かりません。

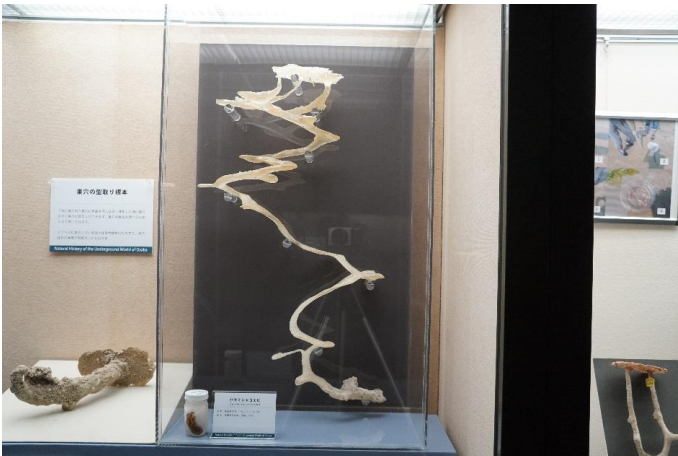
本標本は2012年に大阪文化財研究所(現:大阪市文化財協会)が瓜破遺跡において行った調査発掘の際に、許可を経て採集したものです。



7. 瓜破遺跡 地層はぎ取り標本

「ハサミシャコエビの巣穴の型取り標本」

干潟に掘られた巣穴に樹脂を流し込み、硬化した後に取り出すと、巣穴の型取りができます。巣穴の構造を調べるために採取します。写真はハサミシャコエビの巣穴の型取りで、深さが90cmあります。



8. ハサミシャコエビの巣穴の型取り標本

「ツチアケビの模型」

ツチアケビはラン科の菌従属栄養植物です。菌従属栄養植物とは、菌類に寄生して、生活に必要な影響をすべて菌類から得ている植物のことです。ツチアケビは地面の中の特定の菌類から栄養をもらい、自分では光合成をせずに生活しています。特別展では、ツチアケビの模型を展示し、地面の中の菌類との関係などを解説します。



9. ツチアケビの模型

「地面の下の土壌と土壌に暮らす動物」

地面を掘り、深さごとに分けて、ツルグレン装置を使って動物を探し出しました。深さによって、生き物の数や種類にどのような違いがあるのか、標本と写真で紹介します。動物を採取した場所で作成した、土壌の断面の剥ぎ取り標本も展示します。

「モウソウチクの地下茎」

竹林の地面の下には竹の地下茎や細根が四方八方に広がっています。この大きなモウソウチクの地下茎の標本は、京都市で採取されました。横に伸びる太いものが地下茎で、地下茎のあちこちから細根が出ている様子が分かります。標本を裏側から見ると、タケノコが出た跡も分かります。



10. モウソウチクの地下茎（第 51 回特別展の展示の様子）

Ⅲ. 特別展関連行事

特別展の展示について理解を深め、より楽しめる行事を開催します。

【特別展普及講演会】

■特別展普及講演会「都市地盤としての大阪平野の地下をみる」

【ネット配信・対面講演ハイブリッド】

日本の大都市である大阪は、淀川のデルタ地帯に発展してきました。大阪平野の地下には第四紀に堆積した未固結の地層が厚く分布します。これらの地層は都市の建造物を支えるだけでなく、貴重な水資源を蓄えています。今回の講演では、大阪平野地下に分布する第四紀層の調査手法、関連資料の蓄積、都市を支える地盤としての特性、災害・環境とのかかわりなどについて紹介します。

- 日時：2022年12月18日（日）午後2～4時
- 講師：三田村宗樹氏（大阪公立大学 大学院理学研究科 都市科学・防災研究センター 教授）
- 場所：大阪市立自然史博物館 講堂（YouTubeでの配信も行います）
- 定員：講堂での聴講：170名（定員を超えた場合は抽選）
- 対象：講堂での聴講：どなたでも参加できます(小学生以下は保護者同伴)。ただし申込が必要。
ネット配信：インターネットに接続することができる方
- 参加費：無料（博物館での聴講の場合は博物館入館料が必要）
- その他：新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によっては、ネット配信のみの実施に変更する可能性があります。
- 担当者：第四紀研究室 石井

【講堂での聴講の申込方法】申込みが必要です。大阪市立自然史博物館ホームページから申込みます。電子メール（gyouji@mus-mh.city.osaka.jp）、往復はがきで申し込む場合は、行事名「都市地盤としての大阪平野の地下をみる」と明記の上、希望者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信用の宛名を書いて、大阪市立自然史博物館普及係までお申し込み下さい。抽選の結果や参加方法などは返信でお知らせします。

【申込締切】12月6日（火）必着

【インターネットでの聴講の方法】申込不要です。2月26日（日）まで見逃し配信を行います。同時配信を見られない人はご覧下さい。

※視聴方法等については、「Ⅲ. 特別展関連行事」の最後にまとめて掲載しております。

■特別展普及講演会「海のアングラに生きる：底生生物の巣穴と生痕化石」

【ネット配信・対面講演ハイブリッド】

われわれ人間が生活しているのは、主に地面の上です。しかし生き物の中には、地面の中を、つまりアンダーグラウンドを主な生活場所としているものたちがいます。陸ではモグラやアリなどの昆虫、そしてミミズなどです。一方で海においても、アングラ生活をしている生物がいます。海底の堆積物に潜って生活している底生生物（ていせいせいぶつ）と呼ばれるものたちです。それには貝やエビ、ゴカイなどが該当します。本講演では、私がこれまで行ってきた浅海の巣穴研究の話を中心としつつ、深海の巣穴や、地層の生痕化石に関するトピックなどを紹介していきます。

●日時：2023年1月22日（日） 午後2時～3時30分

●講師：清家 弘治 氏（産業技術総合研究所・地質調査総合センター）

●場所：自然史博物館本館 講堂（YouTubeを使った同時配信も行います）

●定員：講堂での聴講：170名（定員を超えた場合は抽選）

●対象：講堂での聴講：どなたでも参加できます(小学生以下は保護者同伴)。ただし申込が必要。

ネット配信：インターネットに接続することができる方

●参加費：無料（博物館での聴講の場合は博物館入館料が必要）

●その他：新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によっては、ネット配信のみの実施に変更する可能性があります。

●担当者：第四紀研究室 中条

【講堂での聴講の申込方法】申込みが必要です。大阪市立自然史博物館ホームページから申込みます。電子メール（gyouji@mus-mh.city.osaka.jp）、往復はがきで申し込む場合は、行事名「海のアングラに生きる」と明記の上、希望者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信用の宛名を書いて、大阪市立自然史博物館普及係までお申し込み下さい。抽選の結果や参加方法などは返信でお知らせします。

【申込締切】1月10日（火）必着

【インターネットでの聴講の方法】申込不要です。2月26日（日）まで見逃し配信を行います。同時配信を見られない人はご覧下さい。

※視聴方法等については、「Ⅲ. 特別展関連行事」の最後にまとめて掲載しております。

【自然史オープンセミナー】

■自然史オープンセミナー（1月）

菌類学講座 2023「ミクロに潜むディープな世界 冬虫夏草を探る」

毎年1月に開催している菌類学講座ですが、大阪アンダーグラウンド RETURNS 展にちなみ、今年は冬虫夏草をテーマに東勇太さんをお招きしてお送りします。

地下や朽木、時には葉枝に止まる昆虫などに寄生し、やがてその虫を殺してきのこを生やす冬虫夏草。その不思議な生態や多様な形態は多くの人を魅了する存在です。しかし、一般的にも漢方薬として名前を知られているものの、きのこ好きでも実物を見付けたことのない人も多い生き物でしょう。「冬虫夏草生態図鑑」などにも関わり、調査を続ける東さんに、目の付け所や全国各地での調査の様子を伺います。

- 日時：2023年1月21日（土）午後1時～2時30分（開場12時30分）
- 講師：東 勇太 氏（日本冬虫夏草の会理事）
- 場所：自然史博物館本館 講堂（YouTubeを使った同時配信も行います）
- 定員：先着170名（講堂での聴講）
- 対象：講堂での聴講：どなたでも参加できます（小学生以下は保護者同伴）。

ネット配信：インターネットに接続することができる方

- 参加費：無料（博物館での聴講の場合は博物館入館料が必要）
- 申込：不要
- その他：新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によっては、ネット配信のみの実施に変更する可能性があります。
- 担当者：植物研究室 佐久間

【インターネットでの聴講の方法】2月26日（日）まで見逃し配信を行います。同時配信を見られない人はご覧下さい。

※視聴方法等については、「Ⅲ. 特別展関連行事」の最後にまとめて掲載しております。

■自然史オープンセミナー（2月）

「大阪城の地下に眠る石垣」

大阪城の石垣というと、白くてきれいな石垣が思い浮かびますが、これは徳川幕府によって再築された石垣です。この徳川期大坂城の地下数メートルのところには、豊臣期大坂城の石垣が埋もれていることが発掘調査からわかってきています。石垣の一般公開に向けた発掘調査の一環で石垣の調査を数年間実施してきました。徳川期石垣も含めて大坂城石垣の地学的話題を紹介します。

- 日時：2023年2月18日（土）午後1時～2時30分（開場12時30分）
- 講師：川端 清司 氏（大阪市立自然史博物館 館長）
- 場所：自然史博物館本館 講堂（YouTubeを使った同時配信も行います）
- 定員：先着170名（講堂での聴講）
- 対象：講堂での聴講：どなたでも参加できます（小学生以下は保護者同伴）。

ネット配信：インターネットに接続することができる方

- 参加費：無料（博物館での聴講の場合は博物館入館料が必要）
- 申込：不要

●その他：新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等によっては、ネット配信のみの実施に変更する可能性があります。

●担当者： 第四紀研究室 石井

【インターネットでの聴講の方法】2月26日（日）まで見逃し配信を行います。同時配信を見られない人はご覧下さい。

※視聴方法等については、「Ⅲ. 特別展関連行事」の最後にまとめて掲載しております。

【ジオラボ】

■ジオラボ（1月）「大阪平野の地下から縄文時代の巨大噴火の火山灰を探そう」

およそ7000年前に、九州の南で巨大火砕流噴火が起きました。その噴火で空に噴き上げられた火山灰は日本列島を広くおおいました。この火山灰は、大阪平野の地下の地層からも見つけることができます。ボーリングコアから火山灰を探すとともに、ボーリングコアを観察してその頃の大阪平野の様子を考えてみましょう。

●日時：2023年1月14日（土）午後2時30分～3時30分

●場所：大阪市立自然史博物館 集会室

●対象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

●定員：20名

●参加費：無料（ただし博物館入館料が必要）

●担当者：第四紀研究室 石井

【申込方法】申込みが必要です。大阪市立自然史博物館ホームページから申込みます。電子メール（gyouji@mus-mh.city.osaka.jp）、往復はがきで申し込む場合は、行事名「ジオラボ1月火山灰を探そう」と明記の上、希望者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信用の宛名を書いて、大阪市立自然史博物館普及係までお申し込み下さい。抽選の結果や参加方法などは返信でお知らせします。

【申込締切】：1月6日（金）必着

■ジオラボ（2月）「骨格を あながあくほど みてあげて」

博物館にきたら、標本をじっくりみましよう。どこをみたらいい？ 学芸員といっしょにマチカネワニの骨格を、あながあくほどじっくりみましよう。第2展示室で、あなたのお気に入り古生物をひとつみつけましよう。お子さん、大歓迎！

●日時：2023年2月11日（土）午後2時30分～3時30分

●場所：自然史博物館 集会室

●対象：小学生以上

●定員：24名

●参加費：無料（ただし、博物館入館料が必要）

●担当者：地史研究室 田中

【申込方法】申込みが必要です。大阪市立自然史博物館ホームページから申込みます。電子メール（gyouji@mus-mh.city.osaka.jp）、往復はがきで申し込む場合は、行事名「ジオラボ2月骨格を あながあくほど みてあげて」と明記の上、希望者全員の名前、年齢、住所、電話番

号、返信用の宛名を書いて、大阪市立自然史博物館普及係までお申し込み下さい。抽選の結果や参加方法などは返信でお知らせします。

【申込締切】1月31日（火）必着

【テーマ別自然観察会】

■「川原の下の地層」

川は山から海に土砂を流す通り道であるとともに、川の周りに土砂をためて平野を作ります。川原に穴を掘って、川原の地面の下にどのような地層がたまっているかを見ると、どんな水の流れて土砂が運ばれてきたのかがわかります。大和川に行って川原に穴を掘って地層を観察したり、川の地形を眺めてみましょう。

●日時：2023年2月23日（木・祝）午前・午後の2回実施（同じ内容です）

※雨天および河川増水時には中止

●場所：大阪市住吉区の大和川

●対象：小学生以上（小学生は保護者の同伴が必要）

●定員：午前・午後 各20名（定員を超えた場合は抽選）

●参加費：中学生以上100円、小学生50円（自然史博物館友の会会員は無料）

●担当：第四紀研究室 中条

【申込方法】申込みが必要です。大阪市立自然史博物館ホームページから申込みます。電子メール（gyouji@mus-mh.city.osaka.jp）、往復はがきで申し込む場合は、行事名「川原の下の地層」と明記の上、希望者全員の名前、年齢、住所、電話番号、返信用の宛名と参加を希望する時間帯（午前・午後・どちらでもよい）を書いて、大阪市立自然史博物館普及係までお申し込み下さい。抽選の結果や参加方法などは返信でお知らせします。

【申込締切】2月8日（水）必着

■室内実習「平野の地下の地層の調べ方」

私たちが暮らす大阪平野の地下には、ごく新しい時代にたまった地層が厚く堆積しています。ごく新しい時代にたまった地層はまだ固まっておらず、地震の揺れに弱く、大きな地震が起きると液状化を起こすような軟弱地盤です。とても気になる存在ですが、直接観察できる機会はほとんどありません。平野の地下の地層を調べる方法の一つに、ボーリングコアの観察があります。大阪平野で掘られたボーリングコアを観察しながら、平野の地下にどんな地層がどのように分布するか、調べてみましょう。

●日時：2023年2月5日（日）午前10時～午後3時30分

●場所：自然史博物館 実習室

●対象：小学校4年生以上

●定員：20名（定員を超えた場合は抽選）

●参加費：無料（ただし博物館入館料が必要）

●担当：第四紀研究室 石井

【申込方法】申込みが必要です。大阪市立自然史博物館ホームページから申込みます。電子メール（gyouji@mus-mh.city.osaka.jp）、往復はがきで申し込む場合は、行事名「平野の地下

の地層の調べ方」、参加希望者全員の氏名、年齢（学年）、住所、電話番号、及び返信用宛名を書いて、大阪市立自然史博物館普及係までお申し込み下さい。

【申込締切】1月25日（水）必着

【その他特別展関連行事】

■「アビナン・ミュージアムの見学」

大阪市住吉区にある我孫子南中学校の中に「アビナン・ミュージアム」という展示施設があります。ここには校舎建設時に発見された10万～7万年前のナウマンゾウ・オオツノジカの足跡化石の複製や地層のはぎとり、当時の復元画、弥生時代から室町時代の土器・石器などが展示されています。大阪平野の過去の気候や古環境を学びましょう。

- 日時：2023年1月6日（金） 午前10時～または午後2時～（どちらも同じ内容です）
- 場所：大阪市住吉区 アビナン・ミュージアム（我孫子南中学校内）
- 対象：どなたでも参加できます（小学生以下は保護者の同伴が必要）
- 定員：各回20名（定員を超えた場合は抽選）
- 参加費：無料
- 担当：第四紀研究室 中条

【申込方法】申込みが必要です。大阪市立自然史博物館ホームページから申し込めます。電子メール（gyouji@mus-mh.city.osaka.jp）、往復はがきで申し込む場合は、行事名「アビナン・ミュージアムの見学」、参加希望者全員の氏名、年齢（学年）、住所、電話番号、返信用の宛名と参加を希望する時間帯（午前・午後・どちらでもよい）を書いて、大阪市立自然史博物館普及係までお申し込み下さい。

【申込締切】12月24日（土）必着

【ギャラリートーク】

展示作成に関わった学芸員が、担当したコーナーを詳しく解説します。

- 日時：会期中の水曜日の午後2時～、第1・第3土曜日の午前10時～（博物館ホームページでご確認下さい）
- 申込：不要

【子どもワークショップ】

特別展で、一番やさしい子ども向け行事。ハカセやスタッフと一緒に、展示を楽しもう。

■「じめんのしたのいきもの」

じめんのしたは、まっくらで なにもない？いえいえ、いろんないきものがくらしているんだ。どんないきものがあるんだろう。もぐら、みみず、かせき、いし…？てんじしつで、みつけてね。みんなでおおきな「じめんのした」マップをつくろう！

- 日時：2022年12月17日（土）・18日（日）、2023年1月7日（土）・8日（日）
午前11時～12時、午後1時30分～3時30分（1回約30分）
- 場所：特別展会場（自然史博物館 ネイチャーホール）

- 対象：どなたでも参加できます（小学生未満は保護者の同伴が必要）
- 参加費：無料（特別展観覧料必要）
- 受付：事前申込不要、時間内いつでも受付

■「おしえてハカセ！しょくぶつ化石」

化石なら、しってるよ！きょうりゅう、アンモナイト、クジラ…。はくぶつかんのハカセが「しょくぶつも化石になるよ」だって。はっぱ、えだ、かふん…？それって、どんな化石？標本をじっくり見ながら、ハカセといっしょにお話してみよう。ねんどで、しょくぶつ化石をつくって、もってかえるよ。

- 日時：2023年1月14日（土）・15日（日）、2月11日（土・祝）・12日（日）
午前11時～、午後1時30分～、午後3時～（1回約50分）
- 場所：特別展会場（自然史博物館 ネイチャーホール）
- 対象：小学生以上
- 定員：各回10名
- 参加費：100円（特別展観覧料必要）
- 受付：事前申込必要（申込は、博物館ホームページから）

関連行事について

申込の必要な行事、オンライン配信のある行事があります。申込方法、オンライン配信の見方、詳しい内容、そのほかの関連行事は、博物館ホームページをご覧ください。また、新型コロナウイルス感染症の流行の状況によっては、中止または変更となることがあります。予めご了承下さい。

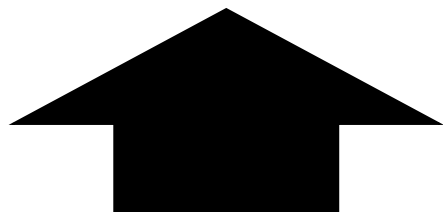
インターネット配信行事の視聴方法等について

【配信方法】

YouTube を使った配信も予定しています。インターネット環境に接続することができるパソコン、スマホなどがあれば、ソフトなどをダウンロードする必要はありません。ネット接続できるパソコン・スマホは各自でご用意ください。

【接続方法】

YouTube の「大阪市立自然史博物館」チャンネル (<https://www.youtube.com/c/大阪市立自然史博物館/>) にアクセスして表題の番組をクリックしてください。開始時間になれば始まりま。番組を見つけられない場合は YouTube の検索ボックスに表題名を入れて検索してください。



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館

総務課 広報 宛

TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

「大阪アンダーグラウンドRETURNS ー掘ってわかった大地のひみつー」 プレス内覧会 取材申込書

プレス内覧会における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、総務課広報宛にFAXにてご返信ください。

■ プレス内覧会

〔日時〕 令和4年12月16日（金）

午後1時

〔会場〕 大阪市立自然史博物館

本館 集会室 および 特別展会場

※博物館通用口からお越しください。



博物館通用口

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
人数（カメラ含む）	
ご住所	〒
ご連絡先	電話： メール： F A X :



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館

総務課 広報 宛

TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225

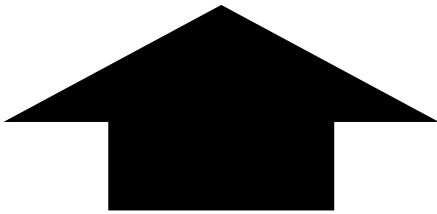
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

**「大阪アンダーグラウンドRETURNS -掘ってわかった大地のひみつ-」
取材申請・招待券 申込書**

会期中、会場内における取材を希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、原則、取材の3日前までにFAXにてお送りください。なお撮影時間につきましては、会場の混雑状況などにより、事前に調整させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

また、貴媒体内での読者・視聴者プレゼントに限り、特別展の招待券を10組20名様分、ご提供させていただきます。なお、掲載媒体を1部（掲載紙・誌、CD-ROM、DVD-ROMなど）お送りいただき、それと引き換えに招待券をお送りさせていただきます。

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
取材日時	令和 年 月 日 () : ~ :
人数 (カメラ含む)	
ご住所	〒
ご連絡先	電話 : メール : FAX :
掲載記事・放送番組名	
掲載日 (発行日) 放送日時	
招待券	希望する ・ 希望しない



F A X . 0 6 - 6 6 9 7 - 6 2 2 5

<FAX送信>

送信先：大阪市立自然史博物館
 総務課 広報 宛
 TEL.06-6697-6222 FAX.06-6697-6225
 〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

「大阪アンダーグラウンドRETURNS ー掘ってわかった大地のひみつー」 広報用画像申込書

- ・ご希望の画像に○印をつけ、下記にご記入のうえ、ご返信ください。
- ・画像使用は本展のご紹介のみとさせていただきます。使用後は、データを破棄してください。（令和5年2月26日(日)まで使用可）
- ・掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で総務課広報宛まで FAX またはメールをお送りください。また、掲載媒体を1部、総務課宛にお送り下さい。

No.	画像名	No.	画像名
1	大阪市内で採取された活断層調査のボーリングコア（第51回特別展の展示の様子）	2	大阪平野地下から見つかった様々なクジラの骨の化石（第51回特別展の展示の様子）
3	メタセコイアの枝先標本	4	水晶（高知県幡多郡柏島）
5	黄鉄鉱（青森県下北郡 安部城鉱山）	6	金銀鉱（鹿児島県伊佐郡菱刈町 菱刈鉱山）
7	瓜破遺跡 地層はぎ取り標本	8	ハサミシャコエビの巣穴の型取り標本
9	ツチアケビの模型	10	モウソウチクの地下茎（第51回特別展の展示の様子）

貴社名・媒体名	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
連絡先	電話： メール： F A X :